

第1回よっちゃんばれ放談会 要旨

日 時	平成27年6月29日(月)午後1時30分～午後3時30分
会 場	まちなか健やかサロン(岡島百貨店6階)
参 加 者	まちなか健やかサロン利用者 甲府市保育連合会の保護者 山梨県私学教育振興会幼稚園部会の保護者
市出席者	市長、福祉部長、福祉総室長、子ども家庭支援室長、児童保育課長、児童育成課長、健康衛生課長、市民対話課長
次 第	1 開会 2 市長あいさつ 3 意見交換 4 まとめ 5 閉会
意見交換	
市長	本日はまちなか健やかサロン利用者、甲府市保育連合会の保護者、山梨県私学教育振興会幼稚園部会の保護者の子育て世代の皆さんにご参加いただきましてありがとうございました。私からお尋ねいたしますが、どんな教室に参加をされているか、ご意見などがあれば伺わせていただきたい。
参加者	ベビーマッサージの教室に参加させていただいております。県外出身者ですが、こういう教室に参加させていただいて知り合いなどを増やしています。2歳の子どもがいて遊びたい盛りですが、そういう場がないので、総合市民会館などでリトミックなど、イベントをもう少し多くしていただければうれしいです。
市長	ご要望等につきましては、この後のご意見で重なる部分もあると思いますので受け止めさせていただき、こういった教室に参加され同年代のお子様を持つママ友などはできましたか。
参加者	ここ以外でも、支援センターなどそういった場でお友達になったりしました。
市長	その他にもいくつかの教室やメニューなどがありますが、その他何かありますか。

参加者	私も県外出身者ですが、初めて子どもをつれて来たのがここなんです、ここは好きなように子どもが遊べて、子どもを見ながら教室に参加できるので、重宝しています。
参加者	ベビーマッサージから参加しているが、土日も含めて教室を開催していただいているのでありがたいです。
参加者	県外出身者ですが、ベビーマッサージでここを知ったが、保健師さんが悩みなど相談に乗ってくれ、保健師さんが頼りになるので通っています。
参加者	ここでお母さん方とお知り合いになれたのと、家から歩いて15分くらいで来れるので、母子ともに運動になるので、気軽によく利用させていただいています。
市長	ベビーマッサージの人気があるようで、そこから来た人が多いように見受けられます。ご主人のお仕事の都合により、甲府市に転入されてこれ、おじいさんやおばあさんもいずに、心細く子育てを行っている方も多いわけですが、そういったところにも目を向けて行こうと思いますし、ママ友やあるいは育児経験のある先輩や友達が増えれば増えるほど健康状態や精神面のケアに繋がると思いますので、そういったところを行政も汲み取っていきたいと思います。
子ども家庭支援室長	先にアンケートを提出いただいた方がおりますので、その方々からご意見を伺いたいと思います。それでは、参加者Aさんお願いいたします。
参加者A	県外出身者ですが、主人が山梨の出身で嫁いできましたが、そういうお母さんが多いと感じました。私は働いていますが、親も近くにおらず、主人も単身赴任で頼れない状況です。幼児保育を利用したことはないのですが、充実を図っていただきたいと思いますし、また、学童保育が小学4年生までと新聞で拝見いたしましたが、6年生までの間をどうしているのかお聞きしたいのと、学童保育を充実していただきたいと思います。
子ども家庭支援室長	幼児期の教育・保育につきましては、その他アンケートでご意見をいただいている方もおりますので、全体的な子育てにやさしい街づくりについて市長からお話させていただきます。
市長	私が選挙公約で一番初めに訴えたのが、子育てに関わるセクションをつくりたいということと、中学3年生までの医療費助成費の拡充についてで

<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>した。</p> <p>すこやか子育て医療費の拡充につきましては、平成28年1月1日から中学3年生まで拡充することといたしました。また、仮称であります「子育て支援部」あるいは「子ども未来局」を創設いたしまして、もっときめ細かく、もっとスピーディーに相談や支援体制が執れるようにしてまいりたいと思っています。</p> <p>もう一つは、甲府プレミアム付き商品券を8月の終わりから販売したいと考えております。とりわけ子育て世代の皆さんには、1万円で1万4千円までお買い物ができるプレミアム券の準備を進めているところでございます。</p> <p>また、様々な場におきまして、段差のないユニバーサルデザイン、バリアフリーに気を付けたまちづくりをしていただくようお願いしたいと思っております。</p>
<p>参加者B</p>	<p>次に、参加者Bさんからご意見をいただきたいと思います。</p> <p>4人の子供を育てていますが、2年前から義母と同居を始め、子どもたちも祖母と暮らすようになり、お年寄りに対して優しい感じになってきたと思います。高齢者と子どもが交流を持てる機会があればいいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>地区の老人クラブが中心となりまして、地域にある幼稚園や保育園などと交流を持って、餅つき大会やほうとう作り、流しそうめんなど工夫を凝らして行っております。私達もそういったところを紹介していきたいと思っております。</p> <p>それともう一つは、愛育会が各地区で組織されており、悠遊館や公民館で子育てサークルなど行政とは別に頻繁にイベントなどを開かれております。愛育会につきましては、子育てガイドブックに掲載してありますのでご覧いただければと思います。</p> <p>最初にイベントなどがあればとのご意見もありましたが、まさにそのとおりだと思いますので、行政も紹介をしていきながらマッチングが図ればと思っております。</p>
<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>次に、参加者Cさんお願いいたします。</p>
<p>参加者C</p>	<p>人口増加に資するための子育て施策についてですが、人を定住させていくためには、市として必要な施策もあると思いますので今後具体的にどの</p>

<p>市長</p>	<p>ように進めていくのかお聞きしたい。</p> <p>地方都市の最大の課題は、人口減少と地場産業をどのようにしていくかの二つに尽きると思いますので、最優先に考える部分であります。子育て支援の観点から言えば、子育ての基盤となる家庭を支援する環境をつくっていくことと、全てのお子さん達が心身ともに健やかに成長できる基盤整備を行っていくことであり、それだけではなく、地域と社会全体で子育て・子育てを支えていくことが大事であると思っています。</p> <p>人口増加についてであります。子育て支援をしたり、あるいはお年寄りの福祉のことについて行っていくわけですが、なかなか一年後に人口が増加することにはならないかとは思いますが、五年後、十年後に人口増加に繋がっていくようしっかりとやっていくこと、大都市、大都市圏に、便利な田舎である甲府市は「住みやすいですよ」、「子育てしやすいですよ」とアピールして移住してきていただけるように一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。</p>
<p>子ども家庭支援室長</p>	<p>次に、参加者Dさんお願いいたします。</p>
<p>参加者D</p>	<p>職業柄、食の安全について考えを聞かせていただければと思っています。今はお米を食べないお子さんが増えてきていて、パンとかうどんを食べていて、多く採りすぎて小麦アレルギーが増えてきています。子供にとっては、今から身体が作られていくので、食の安全、食育について考えをお聞きしたい。</p>
<p>市長</p>	<p>食育について言えば、子どもの頃に望ましい食習慣を学び、身に付けることが重要であります。アレルギーの問題については、全てのことを行政が網羅することは今現在では難しいですが、各学校やPTA、保護者会の皆さんに相談しながら、アレルギー問題については努力していると聞いています。アレルギーについてのお話をいただきましたから、しっかりと受け止めさせていただき、学校現場あるいは幼稚園や保育園の先生方とも議論を進めていき善処していきたいと思っています。</p> <p>また、ほぼ全ての地域に食生活改善推進委員会がございまして、親子食育教室や小学校での食育推進事業、料理教室なども行っておりますので見学やお話を聞いていただくなど、参考にさせていただきたいと思います。</p>
<p>子ども家庭支援室長</p>	<p>次に、参加者Eさんお願いいたします。</p>

参加者E	<p>認定こども園についての周知や仕組み、メリット・デメリットが理解できるようなアナウンスが少ないように思います。あと、就園奨励費補助について、保護者の認識度が低いこともありますので、広く周知を図るようにはできないか。</p>
市長	<p>この4月から認定こども園は、1園から14園になりました。幼稚園と保育所の機能を一体的に有し、3歳から5歳までの子どもと一緒に教育・保育を受けられる施設でございます。また、保護者の皆様が働いている、働いていないに関わりなく利用でき、保護者の就労状況が変化した場合でも通いなれた園に継続して利用できることが大きな特徴です。加えて子育て支援の場が用意されており、園に通っていないお子様のご家庭も、子育て相談や親子の交流の場へ参加することができます。</p> <p>認定こども園につきましては、私も分かりやすいものがあればなと思っておりますので、新しい子育てガイドブックに説明を記載して、制度の周知を図ってまいります。</p> <p>担当からも補則の説明をさせていただきます。</p>
子ども家庭支援室長	<p>市長の話にもありましたが、平成27年度版の認定こども園の説明を入れた子育てガイドブックが7月中頃にできますので、皆様のお手元に、あるいは窓口で配付できるようにいたします。それともう一点、就園奨励費に関しましては、現在保育所につきましては保育料という形で各市町村が定めております。幼稚園の保育料に関しましては、幼稚園で保育料を徴収しますが、幼稚園で徴収した保育料を幼稚園が減免するという形をとっておりますので、就園奨励費として各園に補助金を出しております。この就園奨励費につきましても、所得に応じて軽減をしておりますので、保育所の保育料と同じような考え方であります。</p> <p>ここで、お子様もいますので少し休憩を取りたいと思います。</p>
子ども家庭支援室長	<p>それでは時間になりましたので、意見交換会を続けたいと思います。参加者Fさんと参加者Gさんから同様のご意見をいただいております。まず、参加者Fさんからお願いします。</p>
参加者F	<p>病児保育のことについてですが、私達夫婦は共働きで、祖父母も現役世代であるため、子どもが病気の際に祖父母に看てもらうわけにもいかず、私自身も長期間休むことが出来ません。また、インフルエンザ等に罹った場合は、元気になっても一週間くらいは登園できないため、病児保育</p>

<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>に預けないまでも、通っている保育園の中にそのような施設があればいいなと思います。</p>
	<p>次に参加者Gさんお願いします。</p>
<p>参加者G</p>	<p>私も先ほどの方と同じで病児保育についてです。私も働いているため子どもが病気的时候は、なかなか休む事ができません。しかし、母親として子どもの面倒をみななければいけないという一面と、仕事の責任感との間で苦労する事も多いのですが、感染症に罹ったときは、元気になっても一週間くらいは登園できないため、通っている保育園の中にそのような施設があればいいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>病児保育事業は、「病児・病後児対応型」と「体調不良児対応型」があり、「病児・病後児対応型」は、病院等に付設されたスペースにおいて、看護師が一時的に保育する事業で、「体調不良児対応型」は、保育中の体調不良児を保護者が迎えに来るまでの間、一時的に預かる事業です。</p> <p>「病児・病後児対応型」は平成25年度に1か所増え、現在市内に2か所になり（バンビ甲府西、バンビ甲府東）年間3,500名の児童が利用しています。今後につきましても、利用状況等をみながら検討していきたいと思います。</p>
<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>先ほど保育園の中に病児保育施設をとという話がありましたが、感染症の種類は、多様であるため、その種類ごとに部屋を区切ったり、職員を配置することは現状では困難な状況です。ただし、本市の人口規模で医療施設が併設した病児保育施設が2か所あるという市町村は稀であり、手前味噌かもしれませんが、恵まれた環境であると思います。</p>
<p>市長</p>	<p>私から補足ですが、医師会さんや歯科医師会さんなどは、子育て支援や高齢者支援等、本市の福祉行政に対して非常に協力的であり、本市と相談・協力体制をとっておりますので、検討を重ねていきたいと思います。</p>
<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>次に参加者Hさんと参加者Iさんお願いします。</p>
<p>参加者H</p>	<p>私の近所には同じ年頃の子どもの多くいますが、兄弟で同じ保育園に入園できなかったケースがあります。保育園によって、保育理念や方針が違うため、親としてみれば兄弟で同じ保育園に通わせたいです。また、入園</p>

<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>手続きについては、これまでは保育園に書類を提出していましたが、現在は市に提出に変更になってしまったため、保育園への提出に戻していただきたいと思います。</p>
<p>参加者 I</p>	<p>同様の意見ということですが、参加者 I さんよろしいでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>はい。</p> <p>本年度から子ども・子育て支援新制度が開始され、本市でも保育所等へ入所選考を始めました。この入所選考は保育の必要性を点数化し、優先度が高い（点数が高い）世帯の子どもさんを入所させる事となっています。保育所は定員が決まっていますので、下のお子さんを入園させたいと思っても、点数の高い方、例えば育休後のお母さんがいる家庭やひとり親家庭などのほうが点数が高い場合があります。また、この制度は今年度から始まった制度ですので、今回は国の制度に則って行わなければならない、その結果、兄弟で違う保育園に通うといったことになってしまったため、今後は国や県に兄弟入所を定員緩和の要件として認めていただくよう要望を行うとともに、市独自でも来年度から、兄弟で同じ保育所に通えるような方策の検討を行いたいと思いますので、ご理解をお願いいたします。</p>
<p>子ども家庭 支援室長</p>	<p>入園手続きについて説明させていただきます。</p> <p>保育所の入園手続きを市に提出することについては、今年から選考手続きに変更になったため、選考するための様々な資料を添付していただくことになりました。従来どおり、園への提出ですと、書類等に不備があった場合に手続きが進まず、申請が間に合わないことになりかねませんので、今回から市に提出していただくよう変更させていただきました。今後、制度が浸透し、園で書類審査等の受け入れが可能な状況になりましたら、園への提出に戻すことも検討していきますが、制度が複雑ですので、当面は市への提出とさせていただきたいと思いますので、ご理解をお願いします。</p> <p>次に参加者 J さんお願いします。</p>
<p>参加者 J</p>	<p>私には 5 歳になる双子の子どもがおり、毎日子育てを行っていますが、時々育児ノイローゼ気味になることがあります。そんな時はどこに相談したら良いのかわからず、結局は自分で解決してしまっているのですが、行政としてのその様な方への支援のあり方についてお聞きしたいです。また、私の知り合いのお子さんが、心の問題のため、保育園に行けなくなってしまったのですが、その際の子どもへの接し方や対処方法についてご相談で</p>

市長	<p>きる窓口はないですか。</p> <p>先ほどママ友の話がありましたが、子育てをしている同じ環境の方々などと交流することが解決策の一つだと思いますが、本市では健康衛生課で心の発達に心配がある子供さんやその事で悩んでいる保護者の方々に対して、心理相談員による子育て相談やすこやか相談を実施しておりますので、気軽にご相談ください。また、必要に応じて保健師の家庭訪問や保育園と連携、また、県の心の発達支援センター、児童相談所、精神医療機関などへの紹介も行っております。</p>
子ども家庭支援室長	<p>次に参加者Kさんお願いします。</p>
参加者K	<p>人口減少、高齢化社会になっていますが、子どもは地域の宝であり、子ども達の能力や学力を伸ばす事が我々子育て世代にとっても興味があるところですが、行政としては、その点をどのように考えていますか。</p>
市長	<p>まずは、きめ細かく子供達に接する事が大切だと考えておりました。少人数学習やサポートティーチャーとして、定年退職された経験豊富な元先生や教職を目指している学生さんをお願いして、きめ細かな教育の推進に取り組んでおります。また、国の方針で英語に力を取り入れているため、本市でも外国人講師を各学校にこれまでより多く派遣して、英語に親しむ機会を増やす環境作りを行っております。あとは、一つの学級を分けて教育を行うことや中学生になった際には高校進学にあたり、進路指導の先生とよく相談しながら、きめ細かな進路指導に取り組んでいきたいと考えております。最後に危機管理体制についてですが、幸い本市では、子どもが事故や事件にまきこまれたことはありませんが、今後も警察OBの方から協力をいただくことや、各地区の老人クラブが中心になって行っている登下校時の見守り活動を継続していきたいと思っております。</p>
子ども家庭支援室長	<p>次にすこやかサロンを利用している方からもご意見をいただきたいと思いますが、どなたかいらっしゃいますか。</p>
参加者	<p>授乳についてですが、公園に行っても授乳スペースが少ないので、授乳スペースを充実していただきたいのと市立動物園のトイレが暗くて汚く入りづらいので改善して欲しいです。もう一つ、今日の時間帯ですが、一番暑い時間帯で子どもにとっては酷ですので、できれば午前中とかにして</p>

市長	<p>いただきたいと思います。</p> <p>動物園のトイレですが、衛生面や安全面からも、改善に取り組んでいきたいと思います。また、放談会の時間帯についても、なるべく大勢の人に来ていただけるように検討していきたいと思います。</p>
子ども家庭支援室長	<p>授乳スペースにつきましては、公の施設では必要なものであると考えますので、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
参加者	<p>私の家は、すこやかサロンから徒歩圏内ですので、来やすいのですが、幼児教育センターを利用している友達は、利用しづらいとの声を聞くので、葦崎市にある「にらちび」みたいな施設があればいいなと思います。あと私は県外出身者ですが、山梨は車社会であり、ベビーカーで外出した際には歩道で歩きづらい箇所がありますので改善して欲しいです。</p>
市長	<p>子どもさんの遊び場ですが、甲府は県内最大の都市ですから、児童館や幼児教育センターなどが数多くあります。葦崎市の「にらちび」は一箇所ですべて全部が整っている素晴らしい施設ですが、甲府市でも人口の分布をみながら、今後一つ一つの施設の充実を検討していきたいと思います。また、公園の充実という意見を聞くことがあります。本市における市民1人あたりの公園の面積割合は多いため、中身の充実を図っていきたいです。ユニバーサルデザインについては、中心は概ね整備されていると思います。しかし、周辺については行き届いていない箇所がありますので、財政面を考慮しながら、優先順位を決めて対応していきたいです。</p>
参加者	<p>保育園は午後7時半頃まで子どもをみてくれますが、放課後児童クラブは、午後6時半までしかみてくれませんので、時間の延長も検討して欲しいです。通っている学童保育によって、宿題をみてくれる、くれない等方針に違いがあるため、統一して欲しいです。また、最近では中1ギャップという言葉があるため、小中一貫校についても検討して欲しいです。そうすれば、人口や学力の増加に繋がると思います。</p>
市長	<p>学童保育については、受け入れ側のこともあるので、担当部局と連携しながら検討し、今後も子ども達が学童保育で安心して生活できる環境作りを行ってきたいです。次に小中一貫校についてですが、現在は私学が先行していますが、これには学校現場での調整や話し合いも必要です。小中一貫校の導入は国も力を入れておりますので、今後の検討課題とさせていただきます。</p>

<p>子ども家庭支援室長</p> <p>参加者</p> <p>市長</p> <p>子ども家庭支援室長</p>	<p>そろそろ時間となりますので、最後にどなたかいらっしゃいますか。</p> <p>友人から聞いてくれと頼まれたのですが、友人が山城小と大國小の中間辺りに住んでいます。学区は山城小ですが、山城小は児童が多く、通学に時間がかかるため、この付近で小学校をつくってもらえませんか。</p> <p>山城小は全国的にみても児童数の多い学校で、運動会も小瀬のグラウンドを使用していましたが、この度小学校の隣にあったJAを解体し、運動場を広く確保しました。また、山城小の東にある玉諸小も児童が増えており、この地域は以前から小学校の建設要望がありましたが、5年、10年経つと児童が増えないという試算もありますので、教室やグラウンドを広くする等して対応していきたいと思います。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。これで意見交換会を終了させていただきます。長時間おつかれさまでした。</p>
<p>まとめ</p>	
<p>市長</p>	<p>大変お忙しい中を、長時間に亘り、「第1回よっちゃんばれ放談会」にご参加いただき、貴重なご意見等をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。</p> <p>いただきましたご意見やご要望はしっかりと受け止めさせていただきまして、皆様方のお子様や甲府の全ての子どもが健やかにたくましく成長していけるように努力してまいります。</p> <p>また、皆様方をはじめ、多くのお父さんお母さん方が、もう一人・二人お子様を生み、育てたいと願っていただけるような甲府市を創り上げていきたいと思っています。そして、子育てに関する様々な政策が事業として皆様に還元できるよう努力してまいります。</p> <p>皆様方のお子様も健やかに成長されること。また、これからお生まれになるお子様がお元気で生まれになることをご祈念いたしまして、私の挨拶にかえさせていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>

